

令和3年米原市議会第1回定例会 請願文書表

請願番号	請願 第 1 号	受理年月日	令和2年11月17日
件 名	米原市の教育施設などに安定ヨウ素剤の事前配布を求める請願		
請願者住所 氏名	山中悟 滋賀県米原市村居田 780-5 児玉さよ子 滋賀県米原市大鹿 457 塚本志げ子 滋賀県米原市村居田 637-1 中川健 滋賀県米原市柏原 754-1		
紹介議員	中川雅史 議員、山脇正孝 議員		

〔請願の要旨〕

現在、全国で再稼働している9つの原発のうち、4つは隣の福井県にあります。高浜原発3号機と4号機、大飯原発3号機と4号機です。これに加えて、関西電力は来年の初めに3つの老朽原発、高浜1号機（運転歴45年）、高浜2号機（同44年）、美浜3号機（同43年）を再稼働させる準備をしています。仮に、大飯原発で過酷事故が起きて放射性物質が放出されると、風速4メートルの北西の風が吹いている場合、米原市には4時間余りで同物質が飛んできます。その中には、甲状腺ガンを引き起こす「放射性ヨウ素」が含まれています。ただ、適切な時期に安定ヨウ素剤（ヨウ化カリウム）を服用すれば、甲状腺ガンになることを相当程度防ぐことができます。原子力規制庁の解説書によれば、放射性ヨウ素を吸入する前24時間から、吸入した後2時間までに同剤を服用すれば、90%以上のガン抑制効果があると書かれています。服用が24時間後になれば、その効果は7%に急減します。

子どもは発達が早い分、放射能の影響を受けやすいと言われています。チェルノブイリや福島では、同剤を服用しなかった多くの子どもが甲状腺ガンにかかっています。一方、3,303世帯のうち3,134世帯に安定ヨウ素剤を事前配布した福島県三春町では、甲状腺ガンの発症がほとんどなかったと報告されています。

同剤の副作用について、原子力規制庁の解説書は「副作用の心配はほとんどない。副作用による健康影響へのリスクよりも、放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくのリスクの方が大きい」と述べています。また、安定ヨウ素剤は1粒10円以下で購入でき、市財政の大きな負担にはなりません。

米原市では、すでに同剤を備蓄していると聞いていますが、教育施設などに二重に配備することは、災害時における同剤の服用率を高めるものと考えます。

原発そのものには賛否両論があります。しかし、原発事故と放射能放出の可能性がある以上、放射能から市民の命や健康を守ることは、全ての住民の願いであり、地方議会の大事な役割だと考えます。

市民、特に子どもの健康と命を守るために、貴議会に以下のことを請願します。

<請願項目>

米原市内の教育施設など（幼稚園、保育園、小学校、中学校など）に安定ヨウ素剤を事前に配布すること。

付託先委員会	総務教育常任委員会
--------	-----------